

# SHINKAWA

## 2024

### SDGs Report



**Sustainable  
Development Goals**

SHINKAWA Electric Co., Ltd.  
Since 1927

## 経営者メッセージ

当社は、1927年の創業以来、企業理念「新しい価値の創造を通じて社会に貢献する」を使命としてまいりました。

デジタル化の時代に向け、技術商社と振動センサメーカーが持つ、データとデータを繋げる独創的な技術が生み出す製品やサービスを通じて、地域のお客様、世界のお客様に高い価値を提供していくことが社会貢献に繋がると考えています。

またWell-Being(ウェルビーイング)時代に向け、社員一人ひとりが健康で生き生きと働き続ける職場をつくるのが持続可能な社会の実現に繋がると考えています。

そこで、未来の地球と人々の暮らしを守るために、2015年に国連で採択された17項目の持続可能な開発目標(SDGs: Sustainable Development Goals)の中で、特に以下の4つの目標について、当社の製品やサービスを通じて社会課題の解決と企業利益を両立させ、持続可能な社会づくりのための挑戦を行ってまいります。

- 「4. 質の高い教育をみんなに」、
- 「8. 働きがいも経済成長も」、
- 「9. 産業と技術革新の基盤をつくろう」、
- 「17. パートナリシップで目標を達成しよう」

未来の地球と人々の暮らしを守るために、社員一人ひとりがSDGsを理解し、新しい技術や考え方を取り入れ、地域のお客様、世界のお客様の課題を解決し、高い価値を創造することで、社会に貢献できる企業を目指してまいります。



新川電機株式会社  
代表取締役社長  
新川 文登



## 経営戦略とSDGs

当社は、品質方針「顧客の立場に立脚した思考と行動」をもとに、お客様が直面する様々な課題に対し、常にお客様目線で考え、技術開発力やモノづくり力、アフターサービス力を活かし、ソリューションビジネスを展開しています。すべてのヒト、モノ、コトがデータで繋がるデジタル化の時代に、当社は次の3つの重点テーマに取り組んでまいります。

1. 技術開発力、モノづくり力、アフターサービス力を結集して、お客様に高い価値を提供する。
2. 振動専門メーカーとして、変位センサを開発・製造し、回転機器設備(タービン、コンプレッサ、ポンプ、工作機械など)の安全運転と予知・予防保全最適化のソリューションを提供する。
3. お客様の現場環境の改善と設備の安全、生産効率向上に貢献できる人材を育成する。

2020年度から全社規模でSDGsプロジェクトを立ち上げ、社員一人ひとりがSDGsを理解し、社員自ら選定した社会課題をテーマに掲げ、職場や職種、役職に関係なく集まったメンバーでチームをつくり、主体的に取り組んでいます。新しい時代のソリューションビジネスを通して、持続可能な社会づくりに貢献できる企業として、SDGsの目標達成に取り組んでまいります。

取締役執行役員  
SDGs推進室長  
田屋 将

### 活動重点テーマ



社員の学ぶ機会と成長する機会を提供します



安心な職場と生活多様な働き方を提供します



工場の安定化や環境配慮製品を提供します



開発途上国への技術者派遣や技術支援を行います

# 事業を通じたSDGsへの貢献

環境、社会、経済の問題を製品やサービスを通じて解決し持続可能な社会づくりに貢献します

## 技術革新の基盤づくりに貢献 スマートファクトリーの実現



当社の技術者が豊富な経験と技術でお客様と一緒に、機械設備と各種生産管理システムをネットワークでつなぎ、製造現場をデータ化することで、経営全体が最適化される工場(スマートファクトリー)の実現に貢献します。

### ●現状課題

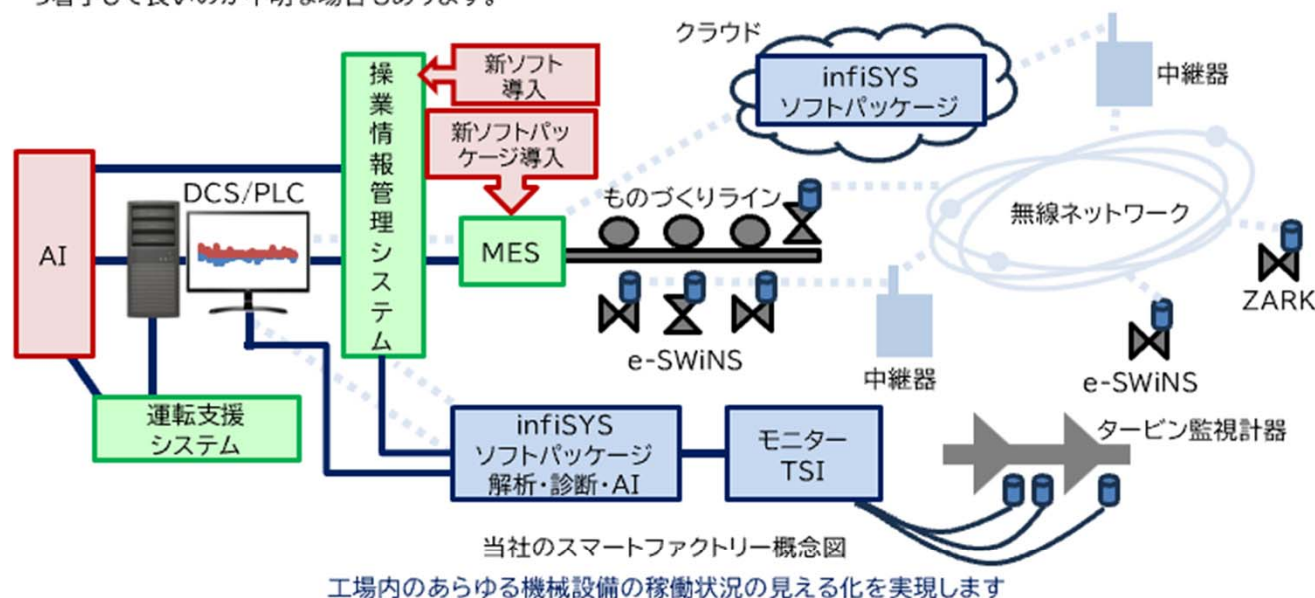
大規模工場では機械設備を監視し制御するDCS(分散制御システム、Distributed Control System)が、また中小規模工場ではPLC(プログラム可能な制御装置、Programmable Logic Controller)が工場操業の主流となっています。工場の生産効率を上げ、安定操業が求められる中、スマートファクトリーの実現に取り組もうとする企業が多くありますが、どこから着手して良いのか不明な場合もあります。

### ●目指す姿

スマートファクトリーの実現により、生産現場の省人化や技術ノウハウの継承を進めます。

### ●取り組み

当社の技術者が豊富な経験と技術でお客様と一緒に、スマートファクトリーの問題を解決し、安定操業や生産効率向上を実現しています。



### 事例紹介

### 機械設備の問題の可視化

工場の機械設備から発せられる大量の警報や重要警報の埋没などによる現場作業者の高い負荷が問題となっています。様々な業界の工場DCSソフトウェアの設計開発を経験した技術者が、DCSデータとお客様の問題を可視化し、生産効率向上や安定操業に向けた改善策を共に考え、生産現場の省人化や技術ノウハウの継承を進めています。「問題点の可視化→解析→改善→効果の確認」というサイクルを廻すことで、技術革新の基盤づくりに貢献します。

# スマート保安の実現



製造現場における様々な課題に対する最適な解決策を要件定義から実装までワンストップでご提供することでお客様の予兆保全も含めたスマート保安実現を支援します。

### ●現状課題

現在、製造業では、設備の高経年化、人材の高齢化とその長期的な不足、技術・技能伝承力の低下に加え、災害の激甚化やテロリスク、新技術によるデジタル社会の進展など、構造的な課題や様々な環境変化への対応が求められています。

### ●目指す姿

製造業での保全行為は、設備が故障した際に、修理や部品交換を行う「事後保全」、予め立てた計画に沿って部品交換やメンテナンスをする「予防保全」が主流でしたが、設備の状態を常時監視し設備が故障する前に発見し対応することで製造ラインの稼働率をより高く維持することができる「予兆保全」に注目が集まっています。さらにIoTやAIの先進技術を活用した保全体制・方法である「スマート保安」(経済産業省、「スマート保安推進のための基本方針」)を実現し、製造現場のデータ解析など工場の製造設備に最適なソリューションを提供します。予兆保全やスマート保安を支援することで、お客様の製造現場の事故防止や労災防止、品質安定、生産性の向上に貢献します。

### ●取り組み

工場の製造設備も含めた制御システム構築から製造部門全体にかかわる生産統合システムまでトータルにエンジニアリングを実施してきた経験から、お客様の現状から予兆保全実現を達成するために必要な課題の洗い出しとそれらの課題に対してどのように解決するかを様々な角度から検討し、解決策を立案します。また、企画立案だけでなく、実装(要件定義～設計～開発～導入)まで支援します。このようにワンストップで弊社が対応することにより予兆保全実現に向けた課題解決に対してどのフェーズにおいても解決策を提供できる体制構築に取り組んでいます。

### ●今後の展開

予兆保全をしたいが何から始めて良いかわからない、スマート保安に対する取り組み方が分からないというお客様に対し、お客様それぞれの課題に対して最適な解決策を提供することを目指しています。

また、1つの解決策を提供して終わりではなく、その解決策をさらに改善していく、さらに次のフェーズでの課題に対しても解決していくといった、持続的な改善活動に寄り添う状態を目指します。それにより、お客様の真の課題解決に貢献します。

# 生産システムの仕様最適化



お客様企業の生産システムの仕様書作成時の仕様最適化支援によって、後工程の作業量と製作コストを低減させ、生産性向上に貢献します。

### ●現状課題

工場の生産システムの改善に取り組む際、社内の一部の開発技術者のみで要求仕様を取りまとめることがあります。その場合、専門知識の不足や作業量の不足などにより、要求仕様が不完全なものになる場合があり、後工程の作業量が増加し、製作コストも増加するという問題が発生します。

### ●取り組み

お客様の生産システムに精通している当社の開発技術者がお客様と共に要求仕様の整理から最適仕様書を作成することで、お客様の負担を軽減し、生産システムの仕様の定義をスムーズに進め、不要な仕様の排除による精度向上と漏れ防止に繋げ、後工程の作業量の増加と製作コストを抑えます。

# 専門スキルを持つ人材を通じたSDGsへの貢献

専門スキルを持つ人材と技術を通じて人材育成や  
技術継承の支援を行います

## 専門スキルを持つ人材不足の解消に貢献 人材プラットフォーム構築



お客様企業の専門スキルを持つ人材不足の解消のために、専門的な人材と技術を提供できる人材プラットフォームを構築しています。

### ●現状課題

日本国内の労働人口の減少に伴い、様々な業種で人材不足が問題になっています。特に各種専門的なスキルを持つ人材が不足しており、この人材の需要と供給の不均衡によって、業務の遅延や予算コストの超過などの問題が生じています。

### ●目指す姿

当社の「人材プラットフォーム」を通じて、お客様とお客様企業に必要な技術の専門家を結び、適切な人材確保をサポートし、労働人口減少に伴う人材不足の課題を解決します。

### ●取り組み

お客様からの人材要請に対し、要求される技術の専門家を選定しお客様支援に繋がります。人材プラットフォームには当社の専門家以外に専門的な人材と技術を提供できるパートナー企業も参画し、お客様の様々な技術課題に迅速に対応しています。

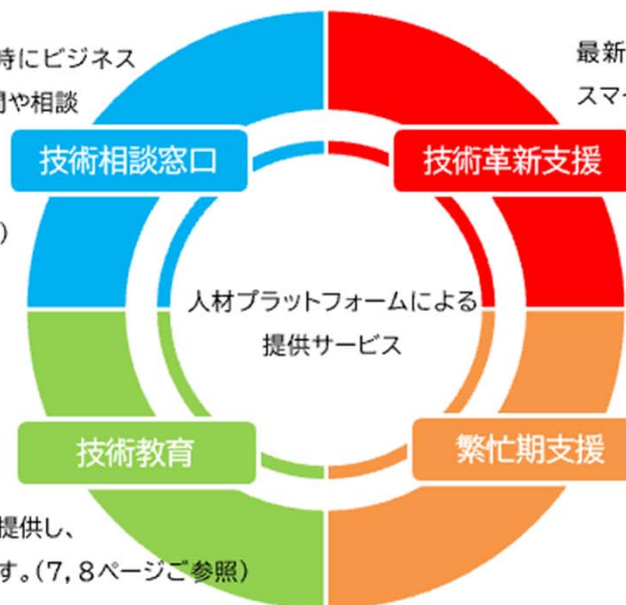
### ●今後の展開

現在、お客様と専門的な人材を直接結ぶオンラインプラットフォームを開発中で、今後、改良を重ねて運用範囲の拡大を図ってまいります。お客様は、業務依頼時の手続きにかかる手間や時間を低減し、オンラインプラットフォームを通じてリアルタイムなコミュニケーションが可能になり、効率的な業務指示と成果の確認ができるようになります。

技術的な課題に直面した時にビジネスチャットアプリを介して質問や相談ができるようお客様支援体制の強化を図っています。(6ページご参照)



各種技術教育プログラムを提供し、技術者育成を支援しています。(7, 8ページご参照)



最新の技術を身に付けた専門家がスマートファクトリー化やスマート保安の実現など製造現場の技術革新に貢献します。

工場設備の定期保守点検など繁忙期の技術者不足時に、当社の全国ネットワークから業務内容に適した技術者を選定し、支援をいたします。

## お客様のディーセント・ワークに貢献 お客様支援体制強化



当社のお客様支援体制の強化により、お客様が抱える問題をスピーディに解決することで、お客様のディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)の実現に貢献します。

### ●現状課題

急速な技術革新により、工場の製造設備や生産システムは高度化しています。そのため、製造現場で発生するトラブル対応が設備担当者の大きな負荷になっています。さらに企業の人材不足や人材育成不足による技術継承が十分進まないことから、自社のみでのトラブル解決は一層困難になる場合があります。

そこで、当社は、製造設備や生産システムのトラブルなどについて、お客様が気軽に質問や相談ができる環境を構築する必要があると考え、お客様の支援体制の強化について、組織的に試行と運用を繰り返してきました。

### ●目指す姿

工場の製造設備や生産システムの担当者や管理者がトラブル発生時に質問や相談ができ、その質問・相談に対し「早く・確実・親切」に対応できるお客様支援体制の強化を目指します。

IoT(Internet of Things:モノのインターネット)やDX(Digital Transformation:デジタル変革)へ対応するための製造設備の機種選定など、お客様のみで検討することが困難な業務を当社の開発技術力を活用し支援することで、お客様のディーセント・ワークの実現に貢献します。

### ●取り組み

お客様の製造設備や生産システムの担当者や管理者に、ビジネスチャットアプリを搭載したスマートフォンを貸与し、トラブル発生時に、お客様から質問や相談を受け、当社の技術者が「早く・確実・親切」に対応できるような体制を構築しました。ビジネスチャットアプリは、チャットや通話などのコミュニケーション手段としての機能だけではなく、画像やファイル共有機能、セキュリティ機能も揃っていて、言葉で伝えづらい現象を写真を撮影して送付することも可能です。



### ●今後の展開

お客様が気軽に質問や相談ができる、お客様支援体制の強化をトライ&エラーを繰り返して実施し、お客様のディーセント・ワークの実現に貢献します。

## 計装技術者の育成に貢献 教育サービス



当社の強みである計装技術を活用した教育プログラムを提供することで、計装の専門的スキルを持つ人材の育成に貢献します。計装とは生産工程などを制御するために、計測装置や制御装置を装備し、測定・制御・管理することです。

現在、多くの企業で、少子高齢化による技術者の不足や急速な技術進歩に伴う人材育成の遅れが問題となっています。そこで当社の強みである計装技術を活用し、お客様に最新の教育プログラムを提供することで、計装技術者の育成と教育の質の向上を目指しています。

教育プログラムの内容は、計装製品やサービスの適切な利用方法や基礎的な技術知識に関するものがあり、お客様の計装技術の知識やスキルを向上させ、工

場の安定安全な操業へ繋がります。

すべての人々に計装技術の教育サービスを提供することで、技術者の不足や急速な技術進歩に伴う人材育成の遅れを解決してまいります。

またすべての人々にこの教育サービスを提供することで、計装業界でのパートナーシップを強化し、地域社会における共同の目標達成にも貢献します。

### インターンシップコース

— 企業の理解を深めるために職業体験をしたい方へ —

学校や大学で学んだ理論的な知識を実践的な経験に結びつける機会を提供します。実務経験を積み実践的なスキルを磨くことができます。

**身につくスキル** ◆ 職務遂行能力 ◆ 問題解決能力 ◆ コミュニケーション能力

**こんな方にオススメ** ◆ 学生や新卒者 ◆ 将来の方向性が定まっていない方  
◆ スキルや経験を積みたい方

当社のこと、商社のこと、業界のこと、そもそもの企業研究まで幅広くお伝えします。またワークショップを通じてものづくりの楽しさも経験して頂くことができます。文系・理系問わず、皆様のご参加を心からお待ちしております。



### 機械状態監視診断技術者(振動)資格取得支援コース

— 専門的な知識取得で振動解析業務を高度化したい方へ —

振動による機械の状態監視・診断技術に関する原理と手順を理解し、修了試験合格にて「ISO18436-2準拠機械状態監視診断技術者(振動)」における各カテゴリの受験資格を得ることができます。

**身につくスキル** ◆ 振動データ取得、解析・診断手法  
◆ ISO18436-2準拠 機械状態監視診断技術者(振動)

**こんな方にオススメ** ◆ 国内・海外に向けて振動解析業務に専門的に携わる方

「ISO18436-2準拠 機械状態監視診断技術者(振動)」とは一般社団法人日本機械学会が、機械の状態監視と診断の技術レベルを国際的に標準化する目的から開始した資格認証制度です。新川電機でも資格取得を奨励しています。

#### 新川グループ資格保持者(2024年3月現在)

カテゴリI	26名
カテゴリII	141名
カテゴリIII	36名
カテゴリIV	2名

※新川センサテクノロジー㈱は機械状態監視診断技術者(振動)資格認証試験の受験資格を取得できる認定訓練機関です。



## 初級計装エンジニアリング研修(2日間)

### — プラントの自動制御を楽しく学習 —

計装機器の原理や役割りについて、机上学習とモデルプラントを用いた学習を行います。モデルプラントを使用することで計装機器の特徴やPID制御が体感できます。

身につくスキル

◆ 計装用語 ◆ 計装機器 ◆ 制御方法 ◆ PID制御の概要

こんな方にオススメ

◆ これから計装業務に携わる方 ◆ 計装、制御の基礎を理解したい方  
◆ PID制御がいまひとつイメージできない方 ◆ プラントの運転操作を実習したい方



▶ モデルプラント

#### 研修プログラム例

- 1日目・座学を中心に計装機器の原理などを学習  
・モデルプラントを構成する機器の確認
- 2日目・モデルプラントによる実習

当社テクニカルセンターにあるモデル工場では実際の機器を扱いながら学べ、机上学習やシミュレータのみでは理解が難しい計装機器の特徴やPID (Proportional-Integral-Differential) 制御のイメージを体感できます。モデル工場を構成する機器は実際の工場でも使用されているもので、さまざまな動作原理のものを組み合わせて構成されており、各々の機器の特徴や注意点なども学習することができます。



## 計装技術研修

### — 計装システム・機器を基礎から学びたい方へ —

プラント運営における計装システムの計装技術を机上学習や計測実習で学びます。各計測実機を用いた学習で、現場スキルに直結した理解を得ることができます。

身につくスキル

◆ 計装概念・基本構成 ◆ 工業計測の基礎 ◆ 計装機器の基本操作

こんな方にオススメ

◆ これから計装業務に携わる方 ◆ これから保守・メンテナンス業務に携わる方  
◆ 計装、制御の基礎を理解したい方 ◆ 計装知識を深めたい方



#### 研修プログラム例

計装入門 / 工業計測の基礎 / ループテスト / システム初級  
その他よくあるトラブル紹介や実機を見ながら図面を理解する等



その他カリキュラムにつきましてはHPを参照下さい。  
<https://www.shinkawa.co.jp/seminar>

セミナー情報



# 社員によるSDGsへの貢献

社員が職制・職種を超えてプロジェクトチームをつくり、どのように社会に貢献するかを考えて、社会課題の解決に取り組んでいます

## 全社SDGsプロジェクト活動 新川電機のSDGs



当社では、SDGs活動を通じて企業と社員の質の向上と社会に貢献することを全社方針に掲げてSDGsプロジェクトを開始しました。社長をトップとし、立候補した社員による全社組織体制で社会課題の解決に取り組んでいます。

### ●新川電機が目指す姿

当社は、未来の地球と人々の暮らしを守るためにSDGs(持続可能な開発目標)の社会課題を全社員が理解し、技術商社と振動センサメーカーの強みを活かした事業活動を通して、地球環境や地域社会、経済基盤などの社会課題の解決に取り組めます。

そのために、社会課題の解決に貢献できる人材の育成や製品・サービスの開発を進め、お客様や地域社会とのコミュニケーションおよびパートナーシップを積極的に進め、製品・サービスの社会価値向上を目指します。

### ●取り組み

全国の社員が職制・職種を超えて集まり、SDGsについて学び、どのように社会に貢献するかを考え、新製品・サービス開発や地域貢献事業、社会貢献人材の育成など様々な新プロジェクト活動に取り組んでいます。

### ●プロジェクト体制

年度ごとにSDGsプロジェクトメンバーを新川電機グ

ープ全社で募集します。集まったメンバーは、SDGs推進室の支援のもと、1年間、社会課題テーマを選定し、その解決に取り組めます。

### ●SDGsワークショップ開催

SDGsプロジェクトの新任メンバーを対象に、SDGsワークショップを開催しています。SDGsについて学び、様々な社会課題に対し何が出来るかアイデア発想を行います。ワークショップで上がったアイデアからメンバーが取り組みたいテーマを選定してチームを作り、1年間のプロジェクト活動に取り組めます。

### ●SDGsレポート発行

プロジェクト活動の成果は、SDGsレポートにまとめ、公開しています。本レポートは、原稿作成からデザイン、校正までSDGsプロジェクトメンバーが担当し作成しています。本年度の表紙、経営者メッセージページの背景デザインは、四国営業所 白井 加織が担当しました。

	活動テーマ		活動テーマ
1	振動解析診断システム開発による社会インフラ設備の予知・予兆保全と自動自立運転の実現	11	スマート保安の実現
2	回収熱利用空調機システムによる二酸化炭素排出量低減	12	生産システムの仕様最適化
3	振動遠隔監視システムによる製造設備の運用監視拡大	13	人材プラットフォーム構築
4	振動診断士養成セミナーによる振動監視技術者育成	14	お客様支援体制強化
5	製造設備のIoT化による工場の生産性向上	15	小・中学生対象ワークショップによる未来の技術者育成
6	開発途上国への技術者派遣による産業基盤構築	16	社内制度改革による働きやすい職場づくり
7	環境に配慮した製品づくりによる環境保全	17	社員の健康づくり(健康経営)
8	振動監視システムによる再生可能エネルギーの有効活用	18	採用制度改革による地域貢献
9	IoT化、DX技術導入支援サービス開発	19	社内eco活動による環境保全
10	機械設備の問題の可視化	20	社員が学べるオンライン図書館設立

## 社員の健康保持・増進 健康経営



社会の高齢化や労働力人口の減少に対し、社員が健康に長く働き社会に貢献できるよう社員の健康保持・増進に取り組んでいます。

### ●現状課題

社会の高齢化が急速に進み、社会保障費の拡大が日本の財政を圧迫しています。また労働人口の減少や労働人口における高齢者の割合の増加は、深刻な人手不足を招き、経済活動の停滞が懸念されます。

誰もが健康に長生きし、社会に貢献できるようにするためには、企業で働く期間をいかに健康で過ごすかが重要で、その後の健康寿命に大きく影響します。

### ●目指す姿

社員の健康保持・増進の取り組みが、社員の健康寿命を延伸し、企業にとっても社員の活力向上や生産性の向上、また労働力の確保に繋がります。

当社の経営基本方針「企業の着実な発展と社員の幸福」の実現に向けて、社員が元気に長く社会に貢献できるように、社員の健康保持・増進に取り組めます。

### ●取り組み

2020年にSDGsプロジェクトメンバーが発案し、全社活動として取り組んだ「社員の禁煙支援・食生活改善」の熱意と成果が認められ、2023年に社員の健康保持・増進に取り組む健康経営推進室が正式に設置されました。「社員が健康で活き生きと働き続ける職場環境をつくる」を目標に、社員の生活習慣病対策・メンタルヘルス対策・ワーク・ライフ・バランスの充実に対して健康投資を行い、2024年3月11日に健康経営優良法人として認定されました。

### ●今後の展開

健康経営優良法人ホワイト500を目指し、従業員一人一人が心身ともに健康を保ち社会に貢献できる体制を構築します。



健康優良社員の食事メニュー紹介



社員によるヘルシーレシピ紹介



健康経営優良法人2024認定証

## 小・中学生対象ワークショップによる未来の技術者育成 わくわくワークショップ



ワークショップ(体験型講習会)を通じてものづくりに興味を持ってもらうことで、未来の技術者育成に貢献します。

### ●現状課題

世界的に少子高齢化が加速しており、技術者の不足により技術伝承や高度な生産性の維持が困難になる可能性があります。

### ●目指す姿

技術者を持続的に確保するため、こどもがものづくりに触れる機会を増やし、未来の技術者を育成することを目指します。

### ●取り組み

子供たちがものづくりや技術を体験できるワークショップを開催しています。

2022年からは文部科学省が推進する「土曜学習応援団」に賛同・登録し、地域の教育団体と広く連携することに取り組んでいます。

### ●持続可能な活動に向けて

本活動自体も持続的なものにするため、次代の活動を担う人材を育成しています。新入社員を対象としたSDGs研修では、当社のSDGs活動を学び、実際の小・中学生対象ワークショップを体験します。



ワークショップ体験の様子



文部科学省「土曜学習応援団」  
特設サイトはこちら



### ●ワークショップへのお申込みはこちら

お問合せ・お申込みは、SDGs推進室(eメール: VE-SDGs@shinkawa.co.jp)までご連絡ください。

## 事例紹介1

## モノづくり体験 ～オリジナルのコマを作ってみよう！～

当社の得意分野であるセンシング技術に子供たちが興味を持つきっかけづくりを目指しています。センシング技術とは振動などを計測し状態を監視する技術のことです。

### ●危険予知訓練

子供たちの日常を描いたイラストを使用し、危険につながると思う箇所、その理由を参加者全員で考え、共有し、理解を深めます。

### ●コマの製作

CD(コンパクトディスク)におもりを配置し、コマの回転時間がどのように変わるか仮説を立て、計測して確認します。最後はシールや絵で飾った自分だけのオリジナルCDコマを作り、コマ回し競争を行います。

### ●参加者の感想

- ・危険に対する考え方に触れることができた。
- ・形・重さの組合せで結果が変わるという事が体験できた。
- ・楽しみながら技術にふれることができた。



## 事例紹介2

## 技術体験 ～本物の仕事道具で遊んでみよう！テスター編～

備長炭電池づくりや計測器(テスター)の使用を通して、ものづくりや技術に子供たちが興味を持つきっかけづくりを目指しています。

### ●テスターの操作

テスターの操作方法を学び、乾電池や自作の備長炭電池の電圧を測定します。

### ●備長炭電池の製作

備長炭と塩水、キッチンペーパー、アルミホイルを使い、備長炭電池を作ります。豆電球をつないで乾電池との光り具合を比較し、テスターで電圧の違いも確認します。

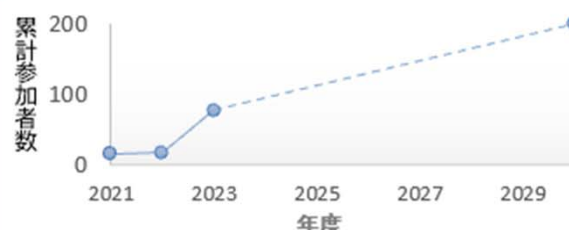
### ●参加者の感想

- ・オンラインで参加できたことがとても良かった。
- ・SDGsについて家族で考える良い機会になった。
- ・本物のテスターを使って実験するところが良かった。



### ●2030年目標

ワークショップへの参加者数累計200名を目標として活動しています。2024年1月現在の参加者数は72名です。今後は地域や各営業拠点との連携を強化し、より多くのワークショップを開催することを目指していきます。



## 社員のディーセント・ワークに貢献 社員が学べる図書紹介



社員が図書を通じて交流できるオンライン仮想図書館を提供し、社内コミュニケーションの活性化と社員が相互に啓発し合い知識を高める職場環境を作り、社員のディーセントワーク(働きがいのある人間らしい仕事)の実現に貢献します。

### ●概要

社内で利用するポータルサイト「井戸端図書館」を立ち上げました。これは社員がおすすめの図書の紹介やコメントできるサイトです。

新型コロナウイルスの感染拡大やリモートワークの普及などで社員同士の交流機会が減少しました。また、従来より、社員が所属するオフィスを越えた交流の機会が少なく、新入社員や中途入社社員は社内の人脈作りが難しい環境でした。

本活動では、社内で運用しているオンラインツールを活用してオンライン上で社員同士の交流の機会を設けることで、部署・役職を超えた社員間で趣味の共有、職場の人脈づくりなどコミュニケーション活性化や知識を高めるための自己啓発のきっかけを得ることを目的に取り組んでいます。

また、本活動は次の当社の行動指針「独創性を追求します」、「自由闊達な職場をつくります」、「資源を有効に活用します」にも則しています。

「井戸端図書館」のメインコンテンツである社員の「おすすめ図書」紹介には昨年7月の開始以来、100冊ほどの紹介が投稿されました。小説・エッセイからビジネス書・趣味や生活の為の実用書、児童書に至るまで多岐にわたる分野の書籍を社員の目線で紹介しています。

共に働く社員のおすすめは、興味の薄かった分野へも興味が広がり、社員の感性を覗く楽しさもあります。紹介図書へのコメントや、おすすめ図書の読書を通じて、社員の相互理解や自己の感性を磨き、知識の幅を広げることに繋がることを期待しています。

### ●取り組み

#### (1)2022年度活動

企画～サイトの下準備まで実施しました。

#### (2)2023年度活動

##### ①サイト公開

全社へ向けて案内文書を配布する前に、あえて社内イントラHP上にこっそりサイト公開。このことにより、ワクワク感、特別感を演出することができました。

##### ②スタートダッシュキャンペーン

1か月間に32件の投稿が寄せられ、盛況でした。

##### ③第2弾キャンペーン

1か月間に43件の投稿が寄せられ、盛況でした。

④Microsoft Teamsとの連携により、社員の意見を取り入れやすくなりました。

### ●今後の展開

工夫を重ね、社内で認知を広げ、社員に楽しんでもらえる企画に取り組めます。

#### 【今後の活動項目】

①サイト内コンテンツ拡大

②書籍貸し借り／貸出システム導入

③図書以外のコンテンツ紹介導入



# 限りある資源と地球環境を守る Eco活動



当社SDGsプロジェクトで「Eco会」チームを作り、地球温暖化を防ぐための活動に取り組んでいます。

## 活動概要

ペーパーレス化やオフィスの緑化、備品や文具類の再利用など社員がオフィスで無理なく楽しんでできる持続可能な3R活動(リデュース、リユース、リサイクル)を推進しています。



「Eco会チーム」

マイボトルやマイ箸持参の社員が増えて廃棄も減りました。グリーンも増えています！

ペーパーレス化で個人のゴミ箱を置かない支社・支店も増えてオフィスもスッキリしてきました。



## ●事例紹介『エコ運動会』

冬季の電力需給が厳しい時期には「冬のエコ運動会」と称し全社で節電率を競うイベントを開催しました。支社・支店単位で参加し、無理のない範囲で節電に楽しく取り組んでいます。



電源OFFで節電に取り組みました

### 関西支社

CO2削減量  
**37**  
Kg-CO2/人・月

### 関東支社

CO2削減量  
**67**  
Kg-CO2/人・月

主な取り組みは  
エアコン清掃です！



LED化に取り組みました

### 九州支社

CO2削減量  
**39**  
Kg-CO2/人・月

### 中部支店

CO2削減量  
**14**  
Kg-CO2/人・月

主な取り組みは  
ペーパーレスです！

全社で298Kgの削減でした。各支社・支店で様々な工夫をして節電に取り組みました。イベント後も節電を継続中です。



### Eco Letter を社内報に掲載

リサイクルや節電のアドバイスなどをエコレターとして社員に届けています。



2030  
GOAL

2030年に当社電力使用量を2021年比で20%低減を目指しています。

## 新川電機株式会社

東京本社：〒102-0083 東京都千代田区麹町4丁目3-3新麹町ビル3F  
広島本社：〒730-0037 広島県広島市中区中町8番12号広島グリーンビル7F  
<https://www.shinkawa.co.jp>

**SHINKAWA Electric Co., Ltd.**

